

平成26年度事務事業評価シート					取組みコード	53141
区分	事務事業		担当課	商工観光課	作成日	平成26年5月27日
事業名	ツーリズム推進事業費		開始年度	平成23年度	予算科目	6.1.3.2.2

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第5部 多彩な産業の活力あるまちづくり	章	第3章 地域資源を活用した観光の振興
節	第1節 観光・レクリエーションの振興	基本施策	4 観光PRと推進体制の整備
取組みの基本方向 (1)愛川の魅力を伝える観光情報を町内外へ積極的に発信します。			
根拠法令等	なし		
目的 (誰・何を対象に、何のために)	東京都心に在住する人々を中心に、愛川町の観光情報の発信と観光客誘致をするため、引き続きツーリズム事業を実施し、町及び町観光のPRを図るもの。 また、町の観光キャラクター「あいちゃん」を各種イベントなどで活用し、町のPRを図るもの。		
内容・方法 (何を行っているのか)	内陸工業団地内の企業見学(製造業)、県立あいかわ公園工芸工房村での体験教室、宮ヶ瀬ダムの観光放流及び堤体内見学などを中心としたバスツアーを実施している。 また、町の観光キャラクター「あいちゃん」を町内外の各種イベントに登場させると共に、関連グッズを配布することで、町のPRに努めている。		

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度	平成28年度		
		入込観光客数		1,425,613人／年	1,496,000人／年		
		フィルム・コミッション利用件数		20件／年	24件／年		
(A)総合計画の節の目標を達成するため本事業に求められる成果		観光客の増加					
(A)の成果をあげられているか測るための指標(成果指標)	増減	指標の説明	項目	基準年度(H23年度)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
入込観光客数	増	入込観光客数 ※平成21年度から毎年1万人増加し目標達成にいたるよう計画値を設定	計画値		1,456,000.0	1,466,000.0	1,476,000.0
			実績値	1,273,291.0	1,153,293.0	1,278,574.0	
			達成度※自動計算		79.2	87.2	0.0
(B)成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動		ツーリズム事業の実施					
(B)の活動状況を測るための指標(活動指標)	増減	指標の説明	項目		平成24年度	平成25年度	平成26年度
ツーリズム事業への参加者数	増	募集人員に対する実参加者数	計画値		80.0	80.0	80.0
			実績値		80.0	81.0	
			達成度※自動計算		100.0	101.3	0.0

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

3. 事業費の推移と財源内訳			(E) 平均人件費(円/年)	8,300,000	
年 度		基準年度(決算) (H23年度)	平成24年度(決算)	平成25年度(決算見込)	平成26年度(予算)
(A) 事業費(円)		596,230	1,968,310	602,382	1,613,000
(B) 概算職員数(人)		0.020	0.060	0.020	0.060
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算		166,000	498,000	166,000	498,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算		762,230	2,466,310	768,382	2,111,000
単位当たりコスト※自動計算		0.6	2.1	0.6	
財源内訳 (円)	特定財源	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源※自動計算		762,230	2,466,310	768,382

4. 事業の項目別評価(分析)

項 目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	法令等で義務付けられた事業である。		B
	民間サービスで同様の事業は実施されていない。市場原理に委ねることができない。		
	国や県において同類種の事業が実施されていない。		
	事業開始時から事業目的や町民のニーズの変化がない。	○	
	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている。	○	
	受益に応じた負担は適正である。	○	
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である。	○	
	町民の日常生活に必要な不可欠な事業である。		
上記のいずれにも当てはまらない。			
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成25年度の目標を達成している	×	B
	基準年度と比較して成果が向上している	○	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用増＞成果アップ	C
有用性 (施策の成果指標の目標達成に貢献しているか)	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	間接的	B
	総合計画の節内での本事業の優先順位	高い	
総合評価 ※自動判定		改善すべき点がある	

5. 特記事項

6. 自己評価(担当課)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 拡 充	☒ 改 善	☐ 縮 小	☐ 再 構 築	☐ 廃 止
理由	ツーリズム事業は、町補助金を活用したモニターツアーであるが、平成23年度から平成25年度までの成果を踏まえ、徐々に町補助金を減額し、参加者負担金を実勢価格に近いものとしており、引き続き見直しが必要である。【H24:3,000円/人、H25:4,000円/人、H26:5,000円/人(予定)】					
今後の方向性	ツーリズム事業参加者のアンケートからは、内陸工業団地の企業や各種体験学習、宮ヶ瀬ダムの見学など、産業や歴史・文化など見所の多い本町に対して概ね好印象であった。また「あいちゃん」のイベント参加も増加しており、町のPR推進に寄与している。今後は、民間観光事業者などに町観光の売り込みを図り、ツーリズム事業も含め、民間が主体となった事業展開ができないか研究していきたい。また、「あいちゃん」が民間主催のイベント等へ参加するなど活動の場が広げられるよう、体制整備を進めていきたい。					

7. 1次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 拡充	☒ 改善	☐ 縮小	☐ 再構築	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	所管課の方向性のとおり					

8. 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 拡充	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 再構築	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等						

9. 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

町の企業や、観光スポットを巡るツーリズム事業については、町外の方々に町をPRするという観点からも、当面、平成26年度の実績である5,000円の参加者負担とし、事業を継続するとともに、今後も、民間が主体となって当該事業が実施できないか、民間旅行業と連携し研究していきたい。また、「あいちゃん」が民間イベント等へ参加できるようにするため、平成26年度に着ぐるみを追加作製(1体)し、その活用方法について具体的に検討する。

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 拡 充	☒ 改 善	☐ 縮 小	☐ 再 構 築	☐ 廃 止
理由・改善方針	所管課の対応案のとおり、ツーリズム事業については当面は現状のまま事業を実施しながら、民間による事業実施に向けた検討を進める。また、「あいちゃん」の民間イベント等の参加に向け、具体的に検討を進めるものとする。					